

第1回 横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会議事録

1	日時	平成27年5月25日(月) 15:25~17:10
2	場所	横浜市寿福祉プラザ2階会議室
3	出席者	選定評価委員 川崎委員、隅田委員、三浦委員、横山委員 4人 事務局 3人
4	欠席者	選定評価委員 新保美香委員 1人
5	議題	(1) 委員長の選出 (2) 公募要項について (3) 指定管理者の選定プロセスについて
6	開催形態	一部公開(傍聴者 0人)
7	決定事項	<p>1 議題(1)について 新保委員を委員長に選任した。 第一回委員会については、新保委員が欠席であったため、横山委員が委員長代行を務めることとした。</p> <p>2 議題(2)について 公募要項の確認を行った。</p> <p>3 議題(3)について 今後の選定プロセスについて確認を行った。</p> <p>4 その他 第2回選定評価委員会は8月中旬に非公開で開催することとした。</p>

議事

1 事務局からの説明等(議事前)

- (1) 新保委員が体調不良のため委員会を欠席する旨を説明した。委員会については、過半数の委員が出席しているため、成立するものとする。

※横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会運営要綱
(議事)

第7条3 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

- (2) 事務局より、指定管理者制度の趣旨について説明

2 議事

(1) 委員長の選出

委員の互選の結果、学識経験者である新保委員を委員長として選出した。ただし、本日は新保委員が欠席のため、横山委員を委員長代行として議事を進行することとした。

(2) 公募要項(案)の検討について

- ・事務局から『横浜市寿生活館の概要』について説明を行った。
→選定評価委員からは、質問、意見は特になし。
- ・事務局で用意した公募要項(案)をもとに検討することについて委員長代行が確認を求めたところ、異議なしとのことで、事務局から説明した。
→委員会での意見を集約したところ、今回の公募要綱(案)そのものについて、修正する必要はなく、全会一致で、公募要項(案)を公募要項とすることとした。

【主な質問意見】

- ・寿生活館には地域、有識者、行政からなる寿生活館運営委員会があると聞いている。市民自らが地域のコミュニティづくりに貢献するプロセスは良いと考えている。
- ・現在のような一方的なサービス提供だけではなく、施設と利用者の相互的な関わり合いを持つような仕組みが必要になってくるだろう。
- ・指定管理者の選定に当たっては、施設の中だけで完結する機能だけではなく、自主事業等により地域のコミュニティを作っていけるか、という点を重視したい。

(3) 選定プロセス、スケジュールについて

- 事務局から選定プロセスについて説明を行った。
→選定評価委員からは意見・質問は特になし。

(4) その他

【選定評価委員会の日程】

第2回の選定評価委員会は8月中旬に行うこととし、事務局より各委員の日程の確認を行い決定することとした。

【会議の公開・非公開について】

第2回の選定評価委員会では、応募団体のプレゼンテーション、ヒアリングを行い、指定管理者候補団体を選定するため、非公開で実施することとした。

